

# プーシキン美術館の至宝

## フランス風景画の魅力

講師 西洋美術史家 木村 泰司



©高木昭仁

見事なフランス絵画のコレクションを誇るモスクワのプーシキン美術館。エルミターージュ美術館と並ぶ、ロシアが誇る美の殿堂です。

プーシキン美術館の魅力は、フランス絵画史を学べると同時に、フランス風景画の歴史を辿ることができる点です。

今回の展覧会も、風景画の古典・規範であるクロード・ロランから、18世紀ブルボン朝時代の作品、そして近代絵画の巨匠たちまで、展覧会出品作を紹介すると同時に



クロード・モネ『白い睡蓮』1899年  
White Water Lilies / Claude Monet

に風景画の魅力进行解説します。

(講師記)

**プーシキン美術館展** State Pushkin Museum 2018年4月14日(火)~7月8日(日)  
**旅するフランス風景画** 【前売券=受付で販売予定】 東京都美術館 (東京・上野公園)

■日 時 2018年4月3日(火) 13:00~16:15

※途中、15分の休憩を含みます。


■受講料 会員 6,264円 一般(入会不要) 7,560円

(入会金は5,400円、3年間有効。70歳以上は入会金無料、証明書が必要です。)

<講師紹介> きむら・たいじ 1966年生まれ。カリフォルニア大学バークレー校で美術史学士号を取得後、ロンドンのサザビーズの美術教養講座にてWORKS OF ART修了。ロンドンでは、歴史的なアート、インテリア、食器等本物に触れながら学ぶ。知識だけでなく、エスプリを大切に、全国各地での講演会、セミナー、イベントは新しい美術史界のエンターテイナーとして評判をよんでいる。著書に『名画の言い分』『巨匠たちの迷宮』『印象派という革命』(以上集英社)、『謎解き西洋絵画』(洋泉社)、『美女たちの西洋美術史』(光文社新書)、『名画は嘘をつく』『名画は嘘をつく 2』『名画は嘘をつく 3』(ビジュアルだいわ文庫)、『世界のビジネスエリートが身につける教養・西洋美術史』(ダイヤモンド社)ほか、エッセーの執筆などで活躍中。

\*講師の病気や、受講者が一定数に達しない場合は、講座を延期または中止する場合があります。

\*手続きの際にご記入いただく皆様の個人情報は受講連絡やお知らせ・講座企画の内部資料として使わせていただきます。

 朝日カルチャーセンター | 湘  
朝日JTB・交流文化塾 南

〒251-0052 藤沢市藤沢438-1 ルミネ藤沢店 9F  
電話 0466-24-2255 URL : <http://www.asahiculture.jp/shonan>